



脱毛・除毛のトラブル

脱毛や除毛のトラブルはとても多いです。毎年何人かのトラブルを保健室でも見ます。今まで保健室に相談があった例と、その予防法を紹介します。

トラブル例①

カミソリで足の毛を剃ったら、赤くなってヒリヒリと痛くなった。



カミソリで除毛する時のトラブル

トラブルの例はカミソリで皮膚の表面を削ってしまっていて肌荒れが起きた状態でした。

他にカミソリでおこるトラブルでは、毛穴のところがぷつぷつと赤くなってしまう場合があります。「カミソリ負け」と呼ばれることが多く、男性のひげを剃るときにもおこります。

予防法

古い切れないカミソリは使わない。
カミソリはいつも清潔にしておく。
カミソリを使う時は専用のクリームやジェルを使って、滑りをよくしてから使うとある程度トラブルを防げます。
毛の流れに沿ってカミソリを動かしましょう。

トラブル例②

除毛クリームを使って、足と腕の毛を処理したら、薬を塗った所は赤くない痛い。

除毛・脱毛剤でのトラブル

肌の弱い人は、脱毛ワックスや除毛クリーム等の刺激で肌荒れや炎症を起こします。問題が起きたときには、自己判断で薬を塗ったりしないで、皮膚科の病院に相談しましょう。

予防法

使用前テストを必ず行いましょう。(使用前テストの方法は、商品の説明書に書いてあります。よく読んで行いましょう。)
日焼けして肌がヒリヒリと弱っている時はやめましょう。

トラブル例③

脇の下の毛を毛抜きで抜いたら、毛穴が赤く腫れ上がってしまい、とても痛い。



毛抜きを使った脱毛のトラブル

抜いた毛穴からばい菌が入って、ニキビのような炎症を起こし化膿します。ひどくなると、たまった膿を病院で切って出します。いくつもできたり、跡が残ったりします。埋没毛が起こることもあります。

予防法

毛抜きで脱毛する前に、手や脱毛する部分をよく洗い清潔にしましょう。脱毛が終わった後も清潔にしましょう。毛穴が腫れやすい人は毛抜きはオススメしません。

埋没毛 次になえてくる毛が皮の中に入り込んでしまうことがあります。皮膚の中に毛が残るので見た目もとても悪くなってしまいます。

埋没毛は予防法がないので、一度起こした人は毛抜きを使った脱毛はやめましょう。